

令和3年度岡津地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
1つの連合町内会を担当しているケアプラザとして各種団体の会合や催事に積極的に参加し、地域のニーズの把握を行い、情報提供や各種団体の活動の支援を行います。 地域ケアプラザの役割について地域に十分に知ってもらえるよう、情報発信を行うと共に区役所や区社会福祉協議会と連携し、地域の課題を各種団体と一緒に考えていきます。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
— 具体的な取組内容 —	
<input type="checkbox"/>	■
職員それぞれのキャリアアップが構築できるよう、その能力に応じてステップアップを後押しします。また日々の仕事の中で議論し意欲、スキルの向上を図ります。ケアプラザは情報量が重要なことから市、区の動向や地域の動向、他のケアプラザの取り組み事例などをミーティングで共有します。	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、地域で外出自粛を余儀なくされている区民の健康維持、介護予防の取り組みを進める。 感染の状況が終息後、速やかに区民ニーズに沿った地域活動、サービス提供の再開を目指す。	
<input type="checkbox"/>	■
広く地域に対してケアプラザの貸館業務について知ってもらえるように周知する。	
<input type="checkbox"/>	■
地域や関係機関の会議、自主事業等において、ケアプラザが地域の身近な総合相談の窓口であることを周知する。	
<input type="checkbox"/>	■
新たな地域活動の担い手を見出すためのきっかけとして、地域住民が気軽に集える場所作りを行う。（多様な趣味、興味を通じて幅広い世代が繋がる場所）	

◆ 事業報告・事業実績評価

<input type="checkbox"/> 振り返り
コロナ禍により活動できない地域の団体も多くありましたが、活動本来の目的や取り組みの支援として、「サロン連絡会」を開催しました。 支援者同士の情報交換や人とのつながりの大切さを再確認し、新たな方法での活動継続の提案ができました。独居世帯や高齢者世帯が増えつつある中、8050問題も目立ち始めているため、民生委員や関係機関と意見交換し、地域で支援の輪を広げる取り組みを行いました。第4期地区別計画にある「障害のある方への理解」の推進を目的として、エリア内の地域防災拠点モデル地区とし、「避難所ヘルプカード」の取り組みがスタートしました。この取り組みがきっかけとなり、「障害者理解講座」や「パラアスリート講演会」の開催につながりました。今後も感染症予防対策を怠らず活動を実施し、住民主体の地域づくりにつながる支援に取り組めます。
<input type="checkbox"/> 区からのコメント
・多数の自主事業を実施しただけでなく、ふれあいこどもまつりやパラアスリート講演会などのイベントも開催し、多くの集客ができました。コロナ禍でありながら、積極的な事業展開ができています。また、ヘルプカードを活用し、障害者の防災拠点の訓練やイベントへの参加につなげる取組を進めるなど、障害分野の取組には特筆すべきものがあります。自主事業でも障害者の居場所支援、精神障害者支援を検討中とのことで、期待しています。 ・他のケアプラザエリアでの活動などを参考に、地域特性に合わせた活動を熟考する1年となりました。次年度は活動で把握した地区課題を可視化するなどして、地域ニーズに合ったサービス創出に向け、協議体の開催等を進めて頂くことを期待しています。 ・コロナ禍で地域情報の把握が難しい中、認知症サポーター養成講座の定期実施や、弁護士セミナー、消費者被害防止講座など地域ニーズに応じた取組が行えました。また、「地域で8050を考える」をテーマに地域ケア会議を実施するなど、地域課題の解決に向けて着手ができています。引き続き、施設協力医、関係機関と連携を軸に、来年度のチームオレンジの展開にも期待しています。